**県・市議補欠選挙にあたっての重点政策**

　　　　　　　　　　　　　　　　　２０１４年　９月　３日　　　　　日本共産党金沢地区委員会

　１０月５日投票で県・市議補欠選挙がたたかわれます。

　この選挙は、競輪場外車券売場設置問題をめぐり、市長辞職を契機とした市長選挙の実施にともなう市議補欠選挙と、県議の欠員補充選挙として行われるものです。金沢市長と市議会・与党会派の議員が業者と癒着し、市政をゆがめた大問題であるにも関わらず、辞職した市長と市議会、与党の政党・会派が一緒になって疑惑隠しを行う中での選挙となっています。

市民のくらしが大変な中、くらしの防波堤として地方政治が大きな役割を発揮しなければならない時、首長と議会が住民不在で利権に走り疑惑隠しに狂奔している問題は極めて重大であり、地方政治の根幹にかかわる問題として、補欠選挙でも疑惑解明と「利権政治」の一掃が重大な争点になっています。日本共産党は、清潔・公正な地方政治の実現へ全力をつくします。

　あわせて、国政では安倍政権による、消費税増税と社会保障の改悪、「戦争する国づくり」の強行、原発の再稼働、ＴＰＰ推進など、「亡国の政治」ともいえる悪政の強行で県民のいのち・くらしも、営業・営農も深刻な危機に直面し、県民との矛盾を深めています。安倍政権の暴走と対決し、唯一の県・市政の野党として、憲法とくらし、福祉、営業を守るために全力をつくします。

県・市議補欠選挙の重点政策

**１．場外車券売場疑惑の徹底解明と清潔・公正の地方政治をつくります**

➀　場外車券売場疑惑の徹底解明へ、市議会が１００条委員会での解明を行うとともに、関係した党・会派が、調査・資料公表など疑惑解明への責任を果たすことを求めます。

　　「利権政治」の一掃へ、地方政治と議会の改革をすすめます。

➁　首長交際費などの全面ガラス張り化をはかります。

➂　利権や特権などをきちんとチェックする力量と清潔さをもち、多様な住民の声と願いが届く活発な議会への改革をめざします。

④　希望する議員の質問権を保障、県・市民公聴会など県・市民の声を聴く場の実現、議員の海外視察を中止します。

**２．子どもからお年よりまで、福祉・教育を拡充します**

①　子どもの医療費窓口無料化を実現します。

②　国保税料・介護保険料を引き下げます。施設の増設で特養待機者の早期の解消をはかります。

➂　保育内容の切り下げに反対し、国と自治体の責任による公的保育制度拡充につとめます。

➃　全学年での３０人学級の実現と正規の教職員の増員をはかります。父母負担の軽減で学べる条件を改善します。

➄　返済不要の給付制奨学金を実現します。

**３．くらし応援で、生活の安心をひろげます**

➀　くらし破壊の消費税増税中止を求めます。

➁　責任水量制の見直しと、高すぎる県水料金の引き下げで、水道料金を引き下げます。

➂　「住宅リフォーム助成制度」をつくり、地域での仕事と雇用をふやします。

➃　ブラック企業根絶へ、県・市として取り組みを強めます。

➄　農林漁業を地域経済の大切な柱に位置づけ、再生産可能な生産者価格を保障し、金沢近郊農業と食の安全を守り、地域の担い手を育てます。

➅　農業、医療、雇用を破壊するＴＰＰ参加撤回を求めます。

**４．志賀原発廃炉、自然エネルギーの本格的導入をはかります**

①　志賀原発の再稼働を許さず、廃炉にします。「原発ゼロの日本」めざし国に働きかけます。

②　県・市として独自の断層調査や実効性のある住民避難計画を策定します。

③　豊富な自然エネルギーを利用した市民参加型の発電施設をつくるなど、自然エネルギーの本格的導入で、地域の産業と雇用拡大に役立てます。

**５．「戦争する国づくり」許さず、安全・安心の県・市政をつくります**

①　憲法９条を守り、「集団的自衛権行使」のための法づくりに反対します。米軍との共同訓練のための小松基地利用や、オスプレイの立ち寄りに反対します。

②　地震、津波、土砂災害など自然災害による危険に、防災・減災対策をつよめ、災害に強いまちづくりをすすめます。

**６．ムダな大型開発をやめ、くらし応援する地方財政に転換を**

①　県・市の不要不急の大型開発は見直し、白山にトンネルを掘る小松白川連絡道路などを中止します。

②　公共事業は、住民生活密着型に転換し、地元産材の活用や地元中小企業への優先発注など、住民福祉の向上と地域経済の活性化に貢献するものにします。

③　ムダな大型開発をやめて、財源を生み出し、くらし・福祉を守る財政運営にいかします。